

# 廣福寺だより

2022年1月



弥彦村内に飛来する白鳥

新しい年を迎えました。本年もよろしく  
お願いいたします。

昨年九月に住職の母をお浄土に見送りま  
したが、広福寺の新年のお参りは、例年通  
り行われます。阿弥陀さまには、お休みは  
ありません。例年どおりにお参り下さい。

遠方のご門徒の皆様は驚かれるかも知れ  
ませんが、この写真は弥彦村の大戸の近く  
から、寺のある麓集落、猿ヶ馬場方面に向  
けて撮ったものです。田んぼで餌を探すの  
は、びっくりするほどたくさん白鳥です。  
角田山の麓の上堰瀉や佐瀉あたりから飛来  
したのではないかな、と思っています。

十年ほど前でしょうか、秋の終わりに田  
んぼに白い袋が点々と転がっているなあと  
思ったら、それが白鳥でびっくりしたこと  
を思い出します。それ以来、毎年白鳥が来  
るようになり、すっかりあたり前の風景に  
なりましたが、実は地球温暖化の影響で繁  
殖率が高まったと考えられるそうです。

高校生の頃、歌人若山牧水の「白鳥はか  
なしからずや空の青海のあをにも染まずた  
だよふ」という歌に、孤独感とともにあこ  
がれたことを思い出しました。

でも、写真の白鳥たちのように、ほん  
とは孤独な白鳥などはいません。人間も同  
じでしょうか。本当は、時に孤独を感じな  
がらも、つらい思いを抱えながらも「共に  
生きる世界」は目前にあるのです。



女性講

十一月二十六日(金)に、女性講がつとまりました。月瀉・梵行寺ご住職の木村俊尚師にお越しいただき、法話を頂戴しました。



木村俊尚 師

今年は東京オリンピックが開催されたこともあり、多様性について考えることが増えました。私もここにいらっしゃる皆様方も、毎日同じように生きています。昨日と今日も新しい毎日を生きておられる。昨日と今日も違うし、今日と明日もまた違う。多様性の基本にはまずこういうことがあるのではないのでしょうか。生きていることの不思議さや感動の実感を新たにしているということ。

よく高齢者の方が「今の若いものは」と言うことを耳にしますが、若い人に言わせれば昔を知らないのです。例えば知識として戦争を知っていても体験はしていないか

ら知りようがない。皆様は若い頃に苦勞なさったおかげで経験も知識も蓄えている。ですが今日という日を迎えることに関して言えば皆さんも若い人も同級生なんです。多様性とは多様化した社会に生きるということ。人はそれぞれ異なる考えや価値観を持っています。同じ地域に住む同い年の同級生でさえ考え方は違うのですから、より大きな社会、さらに世界に視野を広げれば、人間、宗教、国籍などの違いによって考え方の差は広がるばかりです。

大事なのは共通の価値を持つということ。一番はどうしてもいのちということになるでしょうか。今の時代はどうしてもその価値観が薄く感じられている面もあると思います。いのちと聞くと私たちは自分のいのちばかり考えてしまいますが、「無量寿」ということばはありとあらゆる時間、時代のいのちも含むものです。私の命が親鸞聖人と同じということよりも、繋がっているということのほうが重要なのかと思えます。お釈迦様ともそうです。今の時代はそういう感覚が薄くなっている。

この感覚が往生の出发点なのではないかと思えます。私のいのちは私だけのものではない。どこかでつながっている。あなたも尊いが私も尊い。「今どきの若い者」だけがその感覚がないということではなく、これはみんなに共通のことなのです。

仏教では過去・現在・未来の時間軸がつながり、いのちそのものに大きな意味を与える教えです。今までの私を振り返ってみると、なんと恥ずかしいことの繰り返しだったことか。恥ずかしさもありません、これからも生きていったらどのような人生を送るだろうか。だからこそ何をすべきか真剣に考えるときが今であり、これからも続くいのちの営みに参加することが仏教に触れるということなのです。

(法話より 一部抜粋)

東京の狩野彰三郎様より、竹でできた井戸の蓋をご寄進いただきました。以前のものとは比べて太く、頑丈に作っていただきましたので、子供の力では簡単に開けられないようになりました。お寺へお越しの際はぜひご覧ください。



# 広大会の様子

十一月は「親子ほうおんこう」のお参りをしました。駄菓子でタワーを作り、阿弥陀様にお供えしました。お話は新潟市西区黒鳥・威徳寺当院の源川宗城師にお越しいただきました。その後オリジナルの腕輪念珠づくりを行いました。今年も「もちつき」はできませんでしたが、来年こそはできればいいと考えています。

十二月は使用済みのロウソクとお供えいただいたお花をドライフラワーにしたものを使い、「ボタニカルキャンドル作り」というものにチャレンジしてみました。好きなお花を型に詰めてかわいらしいキャンドルに仕上がりました。



**★2022年の予定★**

9:30～11:00頃まで  
1/22(土)  
2/26(土)  
3/26(土)

※ 新型コロナの感染状況によっては中止とします。

## 行事案内

- 3月 9日(水)  
梵鐘講・本山差向布教
- 3月15日(火)  
涅槃会 (ねはんえ)

※ 詳細はまたチラシでご案内いたします。



広福寺ホームページ



◇ 当院の近況報告 ◇

十二月二十一日から二十八日まで、本山茶所布教の当番を任せられ、上洛しました。本山の朝のお勤めの後に三十分の法話を担当します。布教使としての自覚と、自分自身が日々教えに真剣に向かい合っているのかを試された一週間でした。